

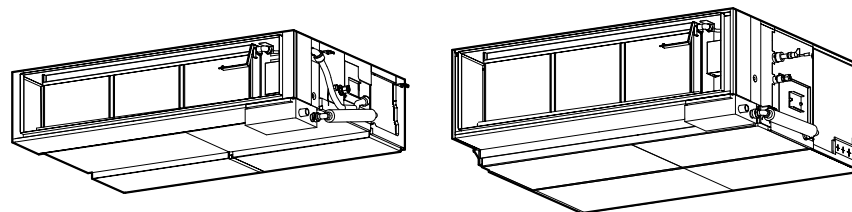
# TOSHIBA

## 東芝パッケージエアコン 取扱説明書



EH99964801

R410A冷媒機種



### <外気処理エアコン>天井埋込形ダクトタイプ

形 名 MMD-UP1401HF  
室内ユニット MMD-UP2241HF  
組み合わせ室外機 MMD-UP2801HF  
はカタログをご覧ください。

形 名(別売品) ワイヤード  
リモコン RBC-AMSU51(省エネneoリモコン)  
詳細設定はリモコンに付属している取扱説明書をご覧ください。

- このたびは東芝パッケージエアコンをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
- この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。また、お使いになる方が代わられた場合は必ず本書をお渡しください。
- 据付説明書を販売店または工事店から必ず受け取って保存してください。
- 保証書を必ずお受け取りください。
- この取扱説明書は外気処理エアコン専用です。他の空調用室内ユニットについては室外機に付属の取扱説明書をご覧ください。
- 本紙では室内ユニットを以下のように示します。

#### ◇室内ユニット

外気処理エアコンを示します。説明のため、外気処理エアコンと記載する場合があります。

#### ◇空調用室内ユニット

外気処理エアコン以外の室内ユニットを示します。






### もくじ

安全上のご注意	2
リモコン各部のなまえとはたらき	3
各部のなまえ	4
正しい使いかた	5
タイマー運転	6
お手入れ	7
据付について	9
知っておいていただきたいこと	10
このようなときには	11
故障診断	11
点検整備について	12
仕様	12
保証とアフターサービス	16








日本国内専用品  
Use only in Japan



# 安全上のご注意


●お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するための安全に関する重大な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。  
記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。


表示の説明	図記号の説明
 <b>警告</b> “取扱を誤った場合、使用者が死亡または重傷（＊ 1）を負うことが想定される内容”を示します。	 <b>禁止</b> ○は、禁止（してはいけないこと）を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。
 <b>注意</b> “取扱を誤った場合、使用者が軽傷（＊ 2）を負うことが想定されるか、または物的損害（＊ 3）の発生が想定される内容”を示します。	 <b>指示</b> ●は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。
<small>＊ 1：重傷とは、失明やけが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。 ＊ 2：軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。 ＊ 3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。</small>	 <b>注意</b> △は、注意を示します。具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。

## 警告

<b>据付上の警告</b>	<b>据付は、お買い上げの販売店または専門業者に依頼する</b> 据付には専門の知識と技術が必要です。 ご自分で据付工事をされ不備があると、火災・感電・けが・水漏れなどの原因になります。  <b>据付を依頼する</b>	<b>フロン類をみだりに大気中に放出しない</b> フロン類を大気中に放出することは、法律で禁止されています。  <b>禁止</b>
	<b>別売品は必ず弊社指定の製品を使用する</b> 指定以外の製品を使用すると、火災・感電・水漏れなどの原因になります。また、取付は専門の業者に依頼してください。  <b>指定製品を使用する</b>	<b>アース工事が正しく行われているか確認する</b> 法律によりD種接地工事が必要です。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。  <b>アースを確認する</b>
<b>据付上の警告</b>	<b>小部屋に据え付けられる場合は万一冷媒が漏れても限界濃度を超えない対策を行う</b> <div>限界濃度を超えない対策については、販売店と相談して据え付けてください。万一、冷媒が漏洩して限界濃度を超えると酸欠事故の原因になります。</div>  <b>限界濃度を超えない対策をする</b>	<b>指定冷媒以外は使用（冷媒補充・入替え）しない</b> 指定冷媒以外を使用した場合、機器の故障や破裂・けがなどの原因になります。  <b>禁止</b>
	<b>可燃性ガスの漏れるおそれのある場所へ設置しない</b> 万一ガスが漏れてユニットの周囲に溜まると発火の原因になることがあります。  <b>据付場所を確認する</b>	

<b>長時間冷風をからだに直接当てたり、冷やし過ぎない</b> 体調悪化・健康障害の原因になります。  <b>禁止</b>	<b>空気の吸込口や吹出口に指や棒などを入れない</b> 内部でファンが高速回転していますのでけがの原因になります。  <b>禁止</b>
---	--

<b>異常時（こげ臭いなど）は、運転を停止して電源ブレーカーを切り、お買い上げの販売店または東芝エアコン空調換気ご相談センターへ連絡する</b> 異常のまま運転を続けると火災・感電・故障などの原因になります。  <b>電源ブレーカーを切る</b>
--


<b>エアコンが冷えない・暖まらない場合は、冷媒の漏れが原因のひとつと考えられるので、お買い上げの販売店に相談する</b> <b>冷媒の追加を伴う修理の場合は、修理内容をサービスマンに確認する</b> エアコンに使用されている冷媒は安全です。 冷媒は通常漏れることはありませんが、万一、冷媒が室内に漏れ、ファンヒーター・ストーブ・コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。  <b>強制</b>
---

## 警告

移設・修理などの警告

改造は絶対にしない


火災・感電などの原因になります。



禁止

修理はお買い上げの販売店に依頼するか、東芝  
エアコン調換気ご相談センターに連絡する


修理に不備があると火災・感電などの原因に  
なることがあります。



依頼する





エアコンを移動・再設置する場合は、お買い上げの販売店または専門業者に依頼する


据付に不備があると火災・感電・けが・水漏れなどの原因になります。



移設を依頼する

## 注意

<b>据付上の注意</b>	<b>ドレン配管が、確実に排水するように施工されているか確認する</b> 配管工事に不備があると水漏れを起こし、家財などをぬらす原因になります。 ドレン排水を確認する  <b>注意</b>	<b>漏電遮断器（過電流保護機能付き）が取り付けられているか確認する</b> 法規上、漏電遮断器の取付が必要です。 漏電遮断器が取り付けられていないと感電の原因になります。 漏電遮断器を確認する  <b>注意</b>
	<b>蒸気が多く発生するような場所、蒸気が発生させる機器近傍に室内ユニットを設置しない</b> ユニット内蔵部品が結露し、故障するおそれがあります。  <b>禁止</b>	<b>室外機が基礎に固定されているか確認する</b> 基礎に固定しないと転倒などによる事故の原因になることがあります。 固定方法を確認する  <b>注意</b>

<b>使用上の注意</b>	<b>エアコンを水洗いしない</b> 感電の原因になります。  <b>禁止</b>	<b>エアコンの風が直接当たる場所に燃焼器具を置かない</b> 燃焼器具の不完全燃焼の原因になります。  <b>禁止</b>
	<b>高圧洗浄機などによるエアコン洗浄は行わない</b> 漏電によって感電や火災の原因になることがあります。  <b>禁止</b>	<b>燃焼器具と一緒に運転するときは、こまめに換気をする</b> 換気が不十分な場合は酸素不足の原因になります。  <b>換気する</b>
	<b>長期使用で据付台などが傷んでいないか確認する</b> 傷んだ状態で放置するとユニットの落下につながり、けがなどの原因になります。 据付台を確認する  <b>注意</b>	<b>可燃性スプレーなどをエアコンの近くに置いたり、エアコンに直接吹きかけない</b> 発火の原因になります。  <b>禁止</b>
	<b>エアコンの風が直接当たる場所には動植物を置かない</b> 動植物に悪影響を与える原因になります。  <b>禁止</b>	<b>ぬれた手でスイッチを操作しない</b> 感電の原因になります。  <b>禁止</b>
	<b>室外機の吸い込み部やアルミフィンにさわらない</b> けがの原因になることがあります。  <b>禁止</b>	<b>掃除をするときは、必ず運転を停止して電源ブレーカーを切る</b> 内部でファンが高速回転していますのでけがの原因になります。 電源ブレーカーを切る  <b>注意</b>
	<b>食品・動植物・精密機器・美術品の保存などの特殊用途には使用しない</b> 品質低下の原因になります。  <b>禁止</b>	<b>エアコンのクリーニングはお買い上げの販売店または東芝エアコン空調換気ご相談センターに依頼する</b> 誤った方法で洗浄を行うと、樹脂部品の破損や電気部品の絶縁抵抗が不良などが発生して故障の原因となったり、最悪の場合は水漏れ・感電あるいは発煙・発火につながるおそれがあります。  <b>指示</b>
	<b>正しい容量の電源ブレーカーを使用する</b> 針金や銅線を使用すると火災や故障の原因になります。 電源は必ず定格電圧でエアコン専用の回路をご利用ください。 正しい電源ブレーカーを使用する  <b>注意</b>	<b>ユニットの上に花瓶など水の入った容器を載せない</b> ユニット内部に浸水して電気絶縁が劣化し、感電の原因になります。  <b>禁止</b>

# リモコン各部のなまえとはたらき

**操作部** ●一度運転内容を設定すると、そのあとは『運転／停止』ボタンを押すだけでご使用になれます。

『F1』ボタン  
操作する画面によって、動作が異なります。

『F2』ボタン  
操作する画面によって、動作が異なります。

省エネ  
メニュー  
とりけし

『省エネ』ボタン  
省エネ設定画面を呼び出します。

『メニュー』ボタン  
メニュー画面を呼び出します。

『とりけし』ボタン  
メニューの取消しなど、使いかたは画面内で指示されます。

形名ラベル

温度センサー

『運転／停止』ボタン

運転ランプ  
運転中はLEDが点灯します。

**表示部** 表示例は説明のためすべて表示してあります。実際は選択した内容の表示となります。  
●電源ブレーカーを最初に入れたとき、リモコンの表示部に **設定中** が点滅します。  
この表示中は自動機種確認中ですので **設定中** が消えたあとリモコンの操作を行ってください。

**簡易画面・詳細画面の切換**  
『とりけし』を押しながら『省エネ』を同時に4秒以上押し続けると画面を切り換えることができます。  
工場出荷時は簡易画面に設定されています。

簡易表示画面（出荷時設定）

設定温度到達フラッグ  
設定温度に到達し、室温維持中に表示されます。

運転パワーレベル  
運転しているエアコンの能力状況が10段階で表示されます。  
室温と設定温度が離れている場合でも、エアコンの保護動作などにより、点灯数が少ない状態で表示される場合があります。

ecoマーク  
エアコンが省エネ運転を行っているときに表示されます。

詳細表示画面

※ 1 「暖房準備中」表示のときは  
暖房運転開始時または除霜運転時に表示します。  
表示中は室内送風機が停止、または送風運転になります。  
「運転準備中」表示のときは  
機種によって表示する場合があります。

通知コードアイコン  
通知コードが発生したときに表示します。  
詳細については、購入先（販売店）にお問い合わせください。

◆アイコン一覧

	タイマーが有効のときに表示されます。		フィルターのお手入れ時期になると表示されます。
	集中管理操作ロック中に表示されます。		集中管理操作の運転切換ロック中に表示されます。※2

※ 2 省エネ neo リモコン据付操作説明書をご覧ください。

◆換気アイコン一覧

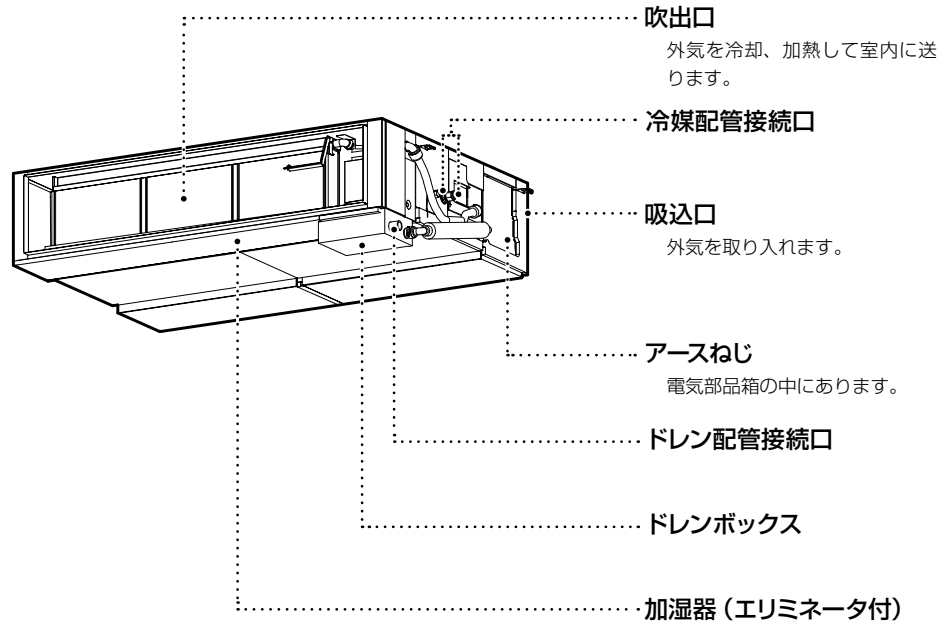
●換気ユニット接続時のみ表示されます。  
●換気アイコンの詳細については全熱交換ユニットの取扱説明書をご覧ください。

	自動換気		全熱換気		ナイトページ
	普通換気		24 時間換気		

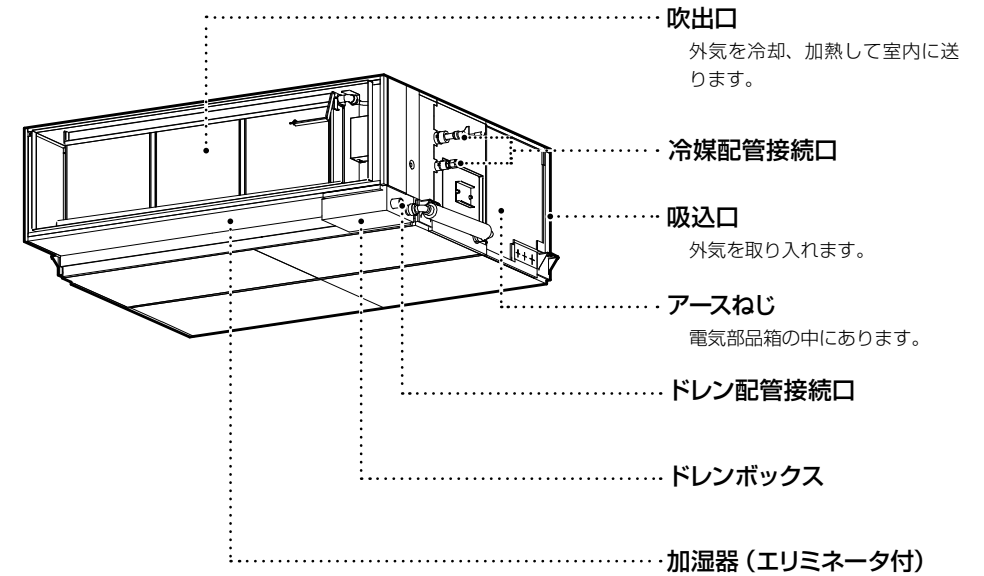
# 各部のなまえ

## 室内ユニット

P140 形



P224・P280 形



## 別売品

### リモコン



●「集中管理リモコン」などを併用したリモコンレスシステムは設定できません。

# 正しい使いかた

はじめてお使いのときや設定を変えるときは、次の手順で操作してください。  
次回から『運転/停止』ボタンを押すだけで操作した設定内容の運転を開始します。

## 準備

### 電源ブレーカーを入れる

- 電源が入ると、リモコン表示部に仕切線が表示されます。
- ※電源が入ったあと、約1分間はリモコンが操作を受け付けませんが、故障ではありません。

### お願い

- 使用期間中は電源ブレーカーを切らないでください。
- 長期間停止後、運転開始をするときは、12時間以上前に電源ブレーカーを入れてください。

## 運転のしかた

1 『運転/停止』を押して運転する

2 運転切換『F1』を押して「運転モード」を選ぶ

- 運転切換『F1』ボタンを押すたびに運転モード表示が変わります。



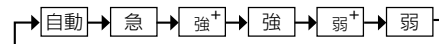
3 『運転/停止』を押して運転を止める



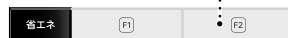
## 風量を変えるとき

風量切換『F2』を押して選ぶ

- 風量切換『F2』ボタンを押すたびに風量表示が変わります。



- 送風運転時は「自動」は選べません。
- 冷房・暖房運転時「自動」は「急」と同じ風量となります。



## 吹出温度を変えるとき

『↑』『↓』を押して選ぶ

- 『↑』を押すと温度が上がり、『↓』を押すと温度が下がります。

### 設定温度範囲

接続室外機がスーパーマルチuシリーズの場合

運転モード	設定範囲	工場出荷時
冷房	13～25℃	18℃
暖房	18～30℃	25℃

接続室外機がスーパーマルチuシリーズ以外の場合

運転モード	設定範囲	工場出荷時
冷房	16～27℃	18℃
暖房	16～27℃	25℃



### お知らせ

#### 冷房のとき

- 約1分後に運転を開始します。

#### 暖房のとき

- 暖房運転の場合は停止後1時間ほど送風運転を続ける場合があります。
- 暖房運転開始時、室内送風機は停止したままで3～5分間予熱運転したあと、温風を吹き出します。（リモコン表示部の「暖房準備」表示が点灯します。）

### 運転モードとはたらき

冷房	外気を冷却して室内へ送ります
暖房	外気を加熱して室内へ送ります
送風	外気をそのまま室内へ送ります

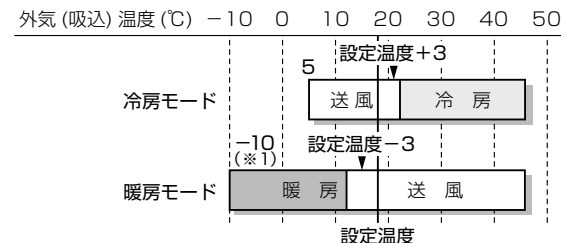
- 外気処理エアコンは吹出空気温度をリモコンの設定温度に近づけるように制御を行います。ただし、外気（吸込）温度および同一系統内の空調用室内ユニットの運転状態によっては吹出空気温度が設定温度に近づかないことがあります。

### お願い

- 外気処理エアコンは室温の制御はできません。
- 室温制御するには、別に空調用室内ユニットが必要です。

### 使用条件

- 冷房モード時、外気（吸込）温度が設定温度+3℃以下の場合は自動的に送風状態になります。また設定温度に関係なく外気（吸込）温度19℃以下も自動的に送風状態になります。
- 暖房モード時、外気（吸込）温度が設定温度-3℃以上の場合は自動的に送風状態になります。また設定温度に関係なく外気（吸込）温度15℃以上も自動的に送風状態になります。



### お願い

- 「冷房」「送風」で外気（吸込）温度が5℃以下の場合は機器保護のため、自動的に外気処理エアコンは運転を停止します。（リモコンに「運転準備」を表示）この場合は「暖房」に切り換えて運転してください。
- 「暖房」で外気（吸込）温度が-10℃（※1）以下の場合は機器保護のため、自動的に外気処理エアコンは運転を停止します。（リモコンに「運転準備」を表示）外気（吸込）温度-10℃（※1）以下で運転する場合はダクトヒータ（現地対応）により取り入れる空気を-10℃（※1）以上にしてください。詳細はお買い上げの販売店にご相談ください。

※1 接続室外機によって温度が異なります。  
接続室外機がスーパーマルチuシリーズの場合のみ-10℃となります。  
スーパーマルチuシリーズ以外の場合は-5℃となります。

# タイマー運転

3つのタイマーの種類が選べます。(168時間の設定ができます。)

切タイマー

入タイマー

切り忘れ防止タイマー

設定時間になると運転を停止します。 設定時間になると運転を開始します。 毎回、設定時間後運転を停止します。

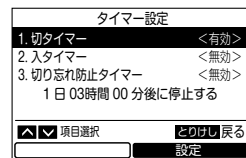
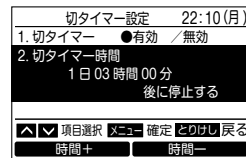
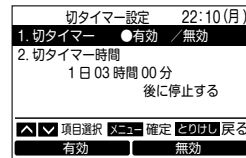
## タイマー運転のしかた

- 1 メニュー画面で「4. タイマー設定」を選んで **設定** 『F2』を押す  
● 設定されている場合は<有効>、設定されていない場合は<無効>と表示されます。
- 2 『へ』『v』を押して設定したいタイマーを選ぶ
- 3 **設定** 『F2』を押す



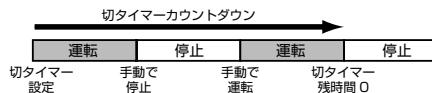
## 1. 切タイマー エアコンを停止させたい時間をタイマーで設定できます。

- 1 切タイマー設定画面で『へ』『v』を押して **1. 切タイマー** を選ぶ
- 2 **有効** 『F1』を押す  
● **無効** 『F2』を押すと設定は解除されます。
- 3 『へ』『v』を押して **2. 切タイマー時間** を選ぶ
- 4 **時間+** 『F1』 **時間-** 『F2』を押して時間を設定する  
● 24時間までは30分ごと、24時間以後は1時間ごとの設定ができます。
- 5 『メニュー』を押す  
● タイマー設定画面に戻ります。



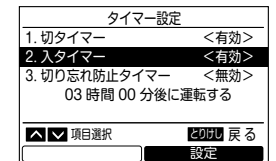
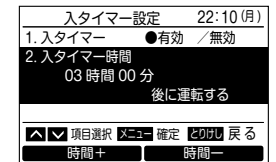
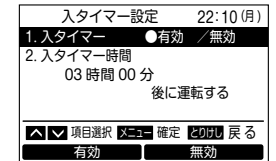
### ■切タイマー動作について

- 切タイマーで設定した時間後にエアコンが停止します。その間にエアコンの停止・運転が行われても切タイマーカウントダウンは継続されます。



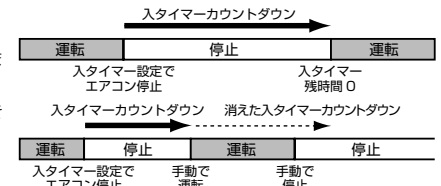
## 2. 入タイマー エアコンを運転させたい時間をタイマーで設定できます。

- 1 入タイマー設定画面で『へ』『v』を押して **1. 入タイマー** を選ぶ
- 2 **有効** 『F1』を押す  
● **無効** 『F2』を押すと設定は解除されます。
- 3 『へ』『v』を押して **2. 入タイマー時間** を選ぶ
- 4 **時間+** 『F1』 **時間-** 『F2』を押して時間を設定する  
● 24時間までは30分ごと、24時間以後は1時間ごとの設定ができます。
- 5 『メニュー』を押す  
● タイマー設定画面に戻ります。



### ■入タイマー動作について

- 入タイマーで設定した時間にエアコンが運転を開始します。入タイマーを設定したときにエアコンは停止します。入タイマーカウントダウン中にエアコンを運転したときは入タイマーは無効になります。



### ■切／入タイマー動作について

- 切／入タイマーは1回のみ有効です。
- 次の場合は切／入タイマーは動作しません。  
切／入タイマー無効中・機能設定中・集中管理中（運転／停止が禁止の場合）
- 2リモコンで使用している場合、子リモコンでの設定はできません。
- 切／入タイマーの設定範囲は、最小30分から最大168時間（7日）までです。
- 『とりけし』を押すと、変更は行われず、変更前の状態でタイマー設定画面に戻ります。
- 停電時は、切／入タイマー設定は解除されます。（無効になります。）
- 切／入タイマーが有効のとき、詳細表示画面に「⌚」が表示されます。

# タイマー運転 (つづき)

## 3. 切り忘れ防止タイマー エアコン運転開始から停止するまでの時間をタイマーで設定します。


- 1 切り忘れ防止タイマー画面で『∧』『∨』を押して **1. 切り忘れ防止タイマー** を選ぶ
- 2 **有効** 『F1』を押す  
● **無効** 『F2』を押すと設定は解除されます。
- 3 『∧』『∨』を押して **2. 切り忘れ防止タイマー時間** を選ぶ
- 4 **時間+** 『F1』 **時間-** 『F2』を押して時間を設定する  
● 10 分ごとに設定ができます。
- 5 『メニュー』を押す  
● タイマー設定画面に戻ります。

切り忘れ防止タイマー 22:10(月)	
1. 切り忘れ防止タイマー	
●有効 / 無効	
2. 切り忘れ防止タイマー時間	
30分	
後に停止する	
∧ ∨	項目選択
メニュー	確定
とりけし	戻る
有効	無効

切り忘れ防止タイマー 22:10(月)	
1. 切り忘れ防止タイマー	
●有効 / 無効	
2. 切り忘れ防止タイマー時間	
30分	
後に停止する	
∧ ∨	項目選択
メニュー	確定
とりけし	戻る
時間+	時間-

タイマー設定	
1. 切タイマー	<無効>
2. 入タイマー	<無効>
3. 切り忘れ防止タイマー	<有効>
30分後に停止する	
∧ ∨	項目選択
メニュー	設定
とりけし	戻る

### ■切り忘れ防止タイマー動作について

- エアコン運転を開始したあと、設定した時間後にエアコンが停止します。  
切り忘れ防止タイマーカウントダウン  
  
エアコン運転開始      切タイマー残時間 0      停止
- 次の場合は切り忘れ防止タイマーは動作しません。  
切り忘れ防止タイマー無効中・異常中・試運転中・機能設定中・タイマー設定中・集中管理中(運転/停止が禁止の場合)
- 2 リモコンで使用している場合、子リモコンでの設定はできません。
- 切り忘れ防止タイマーの設定範囲は、最小 30 分から最大 240 分までです。
- 『とりけし』を押すと、変更は行われず、変更前の状態でタイマー設定画面に戻ります。
- 切り忘れ防止タイマーが有効のとき、詳細表示画面に「⌚」が表示されます。

# お手入れ

暖房運転後は乾燥運転を行うことがあり、このとき送風ファンが動いています。  
お手入れするときは、乾燥運転を強制終了させ、必ず電源ブレーカーを切ってから行ってください。

## お願い

- アルコール・ベンジン・シンナー・ガラスクリーナー・みがき粉などは使用しないでください。製品を傷めます。
- 次亜塩素酸ナトリウムは使用しないでください。金属部に腐食を起こすおそれがあります。
- 化学ぞうきんでこすったり、長時間接触させたままにしないでください。変質したり表面がはがれたりすることがあります。



## 本体

やわらかい布でからぶきする

- 本体の汚れがからぶきで落ちないときは、40℃以下のぬるま湯ですすいだ布をよくしぼって拭いてください。

## リモコン

やわらかい布でからぶきする

- 水洗いをしないでください。故障の原因となります。

## 長期間使わないとき

- 1 乾燥運転とは別に 1 ～ 2 時間送風運転をして内部を乾燥させる。
- 2 リモコンの『運転/停止』ボタンを押して運転を停止して、電源ブレーカーを切る。
- 3 エアフィルターのお手入れをする。

## 定期的な点検

- 長時間使っていると、熱・湿気・ホコリなどの影響や使用状態により部品が劣化し、故障したり、除湿水の排水が悪くなることがあります。
- 通常のお手入れとは別にお買い上げの販売店などによる点検整備（有料）をおすすめします。

## お願い

熱交換器の洗浄は、必ず高圧洗浄で行ってください。

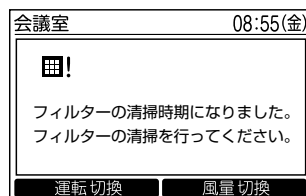
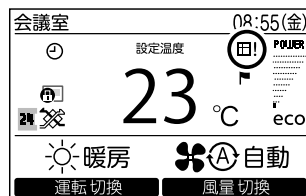
強アルカリ性・強酸性など、洗浄力の強い市販洗浄剤を使用すると、熱交換器の表面処理が侵され、セルフクリーニング機能が低下するおそれがあります。  
詳しくは、弊社営業部または、お買い上げの販売店にご相談ください。

# お手入れ (つづき)

## エアフィルター (別売品) の掃除

リモコン画面にフィルターチェックアイコン「**田!**」を表示し、フィルター清掃時期をお知らせします。(簡易表示画面では表示しません。)

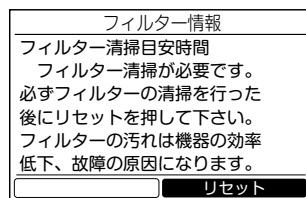
- 「**田!**」が表示されたときは、必ずフィルターの清掃を行ったあとにリモコンのリセットを押してください。  
※詳細表示画面への切替は3ページをご覧ください。
- 取り付けられたエアフィルターの種類により掃除のしかたが異なります。据付業者またはお買い上げの販売店にお確かめください。
- 「**田!**」が表示されているときにエアコンを運転すると、「フィルターの清掃時期になりました。フィルターの清掃を行ってください。」が表示されます。表示中に操作ボタンを押すか、5秒以上放置すると表示は消えます。



## ▼ フィルターチェックが表示されているとき (フィルターチェックのリセット)

**1** メニュー画面で「7. フィルター情報」を選んで **設定** 『F2』を押す

**2** **リセット** 『F2』を押す



## ロングライフフィルターの場合

ホコリを掃除機で吸い取るか水洗いする。

- 汚れのひどいときは、やわらかいブラシや中性洗剤を使って洗うと効果があります。
- 水洗いしたあとは、水切りをし、日陰でよく乾かしてください。

### お願い

- 50℃以上のお湯で洗わないでください。変色や変形の原因になることがあります。
- 火には近づけないでください。火災の原因になります。

## 高性能フィルターの場合

交換時期がきたら交換する。

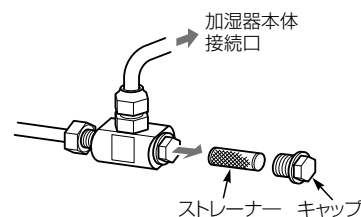
- ロングライフフィルターの清掃時、高性能フィルターの集塵状況、風量の低下を確認して、交換時期(運転時間2,500Hが目安)がきましたら、交換してください。なお、高性能フィルターは水洗い・再使用はできません。ただし、取り入れる空気の状態によっては寿命が短くなる場合があります。

## 加湿器のお手入れ

- 室内ユニット内部にある加湿器は長時間使用するとストレーナーにゴミが溜り、加湿エレメントの能力が低下して加湿ができなくなります。以下の手順でお手入れをしてください。
- 加湿エレメントおよびエリミネータのお掃除についてはお買い上げの販売店にご相談ください。

### 1 エレメントのゴミを取り除く

- ストレーナーを下図のように分解してゴミを取り除いてください。

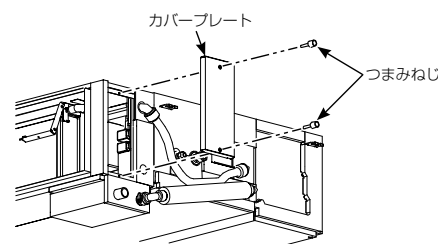


### 2 加湿エレメントを洗浄する

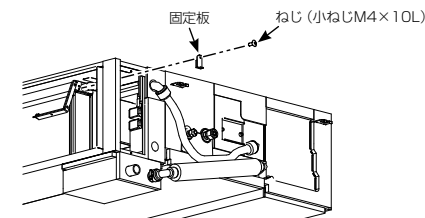
- 洗浄作業の頻度は、給水の水質・流通空気の状態によって大きく変動します。衛生面への配慮から年1回(暖房シーズン前)の実施をお願いしていますが、汚れ具合や吸水性低下(ぬれムラなど)の状態に応じて適宜洗浄を実施してください。洗浄剤は市販の「酸素系漂白剤」を使用してください。
- 加湿エレメントの表面にスケールが析出している場合は、上記の洗浄作業とは別にスケール除去を目的とした洗浄が必要です。スケール除去には専用の洗浄剤が必要です。お買い上げの販売店にご相談ください。

### 加湿エレメントの取りはずし

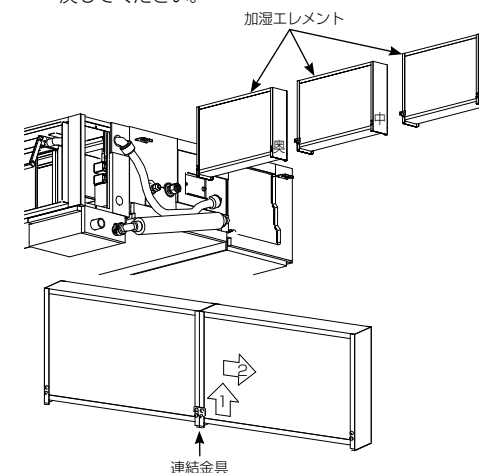
- 2本のつまみねじ(小ねじM4×20L)を回し、カバープレートははずします。



2. 固定板ははずします。



3. 加湿エレメントをスライドし取り出します。  
※加湿エレメントは連結金具でつながっているため、下図のように取りはずしてください。  
※加湿エレメントは向き・順番がありますので、戻すときはエレメントサイドの表示板を参考に戻してください。



### お願い

- 供給水は水道法水質基準に準ずる飲料水を使用し、給水圧は0.05~0.5MPa、水温は5~30℃の範囲で使用してください。
- 冬期に長期間使用しない場合は水抜きを必ず行ってください。給水管内の水が凍結し水漏れのおそれがあります。再度使用の場合は加湿器給水管の元弁を必ず開けてください。閉められたまま暖房運転を行うと吹出温度が高くなり、設定温度に制御ができなくなります。



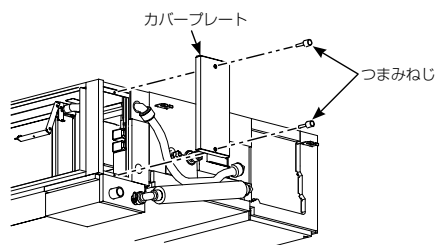
# お手入れ (つづき)

## 3 エリミネータを清掃する

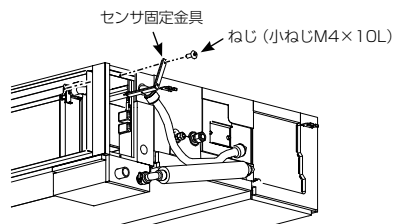
- エリミネータはホコリを掃除機で吸い取るか水洗いしてください。
- エリミネータを水洗いした場合は、十分に乾燥してから取り付けてください。

### エリミネータの取りはずし

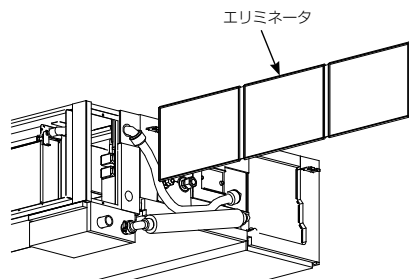
1. 2本のつまみねじ (小ねじM4×20L) を回し、カバープレートをはずします。



2. センサ固定金具をはずします。



3. エリミネータをスライドして取り出します。



# 据付について

## 〈フロン排出抑制法による冷媒充填量確認のお願い〉

- この製品は地球温暖化防止のため、適正にフロン類を回収する必要があります。
- この製品の工場出荷時のフロン類の数量は「仕様」の項目に記載しています。システム全体でのフロン類に関する数値は、室外機に表示されています。



## 据付場所について

### ⚠ 警告

可燃性ガスの漏れるおそれのある場所への設置は行わない  
万一ガスが漏れて室内ユニットの周囲に溜まると、発火の原因になることがあります。



### ⚠ 注意

- 室外機が基礎に固定されているか確認する  
基礎に固定しないと転倒などによる事故の原因になることがあります。
- エアコンの吹出口は火災報知器より 1.5m 以上離して設置する  
火災発生時に火災報知器の作動が遅れる、または検出できない場合があります。
- 蒸気が多く発生するような場所、蒸気を発生させる機器近傍に室内ユニットを設置しない  
ユニット内蔵部品が結露し、故障するおそれがあります。



- 外気処理エアコンは周囲温度が 5℃以下にならない場所に設置してください。  
本体内部に加湿器を搭載しているため所定の温度以下になった場合、加湿器供給水が凍結し水漏れが起きる場合があります。
- 天井内を外気取り入れ通路に使用している場所はさけてください。
- 外気処理エアコンは吸出温度が、空調用室内エアコンと異なりますので、吹出口を配慮して設置してください。
- 室外機の吸込口・吹出口の周囲は十分あけて、通風を妨げるような障害物を置かないでください。放熱が妨げられ性能が低下したり、保護装置がはたらき運転ができないことがあります。
- 強い風が室外機の吸込口・吹出口に向かって吹き付けるおそれのあるところはさけてください。
- 室外機から出る除湿水は、水はけのよいところに排水してください。
- 吸込にフィルターが取り付けられているか確認してください。フィルターが取り付けられていないと、エアコン内の熱交換器などにホコリが付き、水漏れの原因になることがあります。また、空調対象空間に塵埃が入りますのでフィルターを取り付けてください。
- エアコン本体およびリモコンからテレビやラジオを 1m 以上離してください。映像の乱れや雑音が入ることがあります。
- エアコンの吹出口は火災報知器より 1.5m 以上離して設置してください。火災発生時に火災報知器の作動が遅れる、または検出できない場合があります。
- 降雪地区でご使用の場合は、室外機に防雪架台・防雪フードなどを取り付けてください。詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。

## 運転音にもご配慮を

- 運転音や振動が他へ伝わったり、増大しないよう、強度が十分な場所をお選びください。
- 室外機の吹出口の近くに障害物を置きますと、運転音増大のもとになることがあります。
- 室外機の吹出口からの冷温風や運転音が隣家の迷惑にならないような場所をお選びください。

## 次のような場所はさけてください

- 海岸地区など塩分の多いところ、温泉地など硫化ガスの発生するところ
- 酸性またはアルカリ性雰囲気場所  
(温泉地帯・化学薬品工場・すし酢など酸性雰囲気や直接吸い込む場所・燃焼機の排気を吸い込む場所・次亜塩素酸ナトリウムを噴霧する場所など)  
熱交換器 (アルミフィン・銅パイプ) などに腐食を起こすおそれがあります。
- 切削油などの機械油の立込める雰囲気場所  
熱交換器の腐食、熱交換器目づまりによる霧の発生、フィルター目づまりによる性能低下および結露、プラスチック部品の破損、ヒーターの故障、断熱材のはがれなどを起こすおそれがあります。
- 食用油煙が発生する場所  
(食用油を使用する厨房・焼肉・お好み焼き店など)  
フィルター目づまりによる性能低下および結露、プラスチック部品の破損などを起こすおそれがあります。
- 金属粉などの粉塵が発生する場所  
金属粉などがエアコン内部に付着・堆積すると自然発熱することがあり、火災の原因になります。
- 吹き出しの気流を乱す換気口や照明器具などの障害物が近くにある場所

# 据付について (つづき)

気流の乱れにより、能力低下や機器の停止のおそれがあります。

- 電源に自家発電装置を使用している場所  
電源周波数、電圧が変動しエアコンが正常に動作しないことがあります。
- クレーン車・船舶など移動するもの
- 特殊用途（食品・動植物・精密機器・美術品の保存など）では使用しないこと  
保存物の品質などに損害のおそれがあります。
- 高周波の発生する機器（インバータ機器・自家発電機・医療機器・通信機器）がある場所  
エアコンの誤動作や制御の異常やそれら機器へのノイズによる弊害が生じるおそれがあります。
- 据え付けた下に、ぬれては困るものがある場所  
湿度 80%以上のときやドレン口が詰まった場合に、室内ユニットから露が滴下し損害が生じるおそれがあります。
- 有機溶剤を使用している場所
- ドアまたは窓の近くで高湿度の外気と接するおそれのある場所（結露するおそれがあります）
- 特殊なスプレーを頻繁に使用する場所
- 液化炭酸冷却など化学プラント

## 電気配線



### 警告

#### アース工事が正しく行われているか確認する

法律によりD種接地工事が必要です。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。



アースを確認する



### 注意

#### 漏電遮断器（過電流保護機能付き）が取り付けられているか確認する

法規上漏電遮断器の取り付けが必要です。漏電遮断器が取り付けられていないと感電の原因になります。



漏電遮断器  
を確認する

- 正しい容量の電源ブレーカーを使用する
- 針金や銅線を使用すると火災や故障の原因になります。電源は必ず定格電圧でエアコン専用の回路をご利用ください。



正しい容量の  
電源ブレーカーを  
使用する

# 知っておいていただきたいこと

## 運転前の確認

- アース線が断線したり、はずれていないか確認します。
- エアフィルターを付け忘れていないか確認します。
- 運転を開始する 12 時間以上前に電源ブレーカーを入れます。

## 暖房能力について

- 暖房は室外の熱を吸収し、室内に放熱するヒートポンプ方式です。外気温が下がると、暖房能力は低下します。
- 外気温が低いときは、他の暖房器具と併用してお使いください。

## 暖房運転中の除霜

- 暖房運転中、室外機に霜が付いた場合、暖房効果を高めるために自動的に除霜運転（約 2 ～ 10 分間）になります。
- 除霜運転中は、室内ユニット・室外機の送風機は停止します。

## 3 分間保護について

- 運転を停止してすぐに再開したときや、電源ブレーカーを入れたときには約 3 分間、室外機は運転しません。これは機械を保護するためです。

## 停電について

- 運転中に停電した場合はすべての運転を停止します。
- 運転を再開するときは『運転／停止』ボタンを押しながらお過ごしください。

## 保護装置について

- エアコンに無理がかかったときに運転を停止します。
- 保護装置が作動すると、運転が停止し、リモコンの運転ランプとリモコン表示部の点検表示が点滅します。

## 保護装置がはたらくとき

- 保護装置が作動し、運転を停止した場合は、電源ブレーカーを切り、点検をしてください。  
原因を取り除かないで運転すると、故障することがあります。
- エアフィルターが取り付けられているか確認してください。  
取り付けられていないと、空気熱交換器などにホコリが付き、水漏れの原因になることがあります。

## 冷房運転中

- 室外機の吸込口や吹出口がふさがれているとき。
- 室外機の吹出口に強い風が連続して吹き付けたとき。

## 暖房運転中

- エアフィルターにホコリやゴミが異常に多く付着しているとき。
- 室内ユニットの吸込口や吹出口がふさがれているとき。

## 電源ブレーカーは切らないで

- エアコン使用期間中は、電源ブレーカーを切らず、リモコンの『運転／停止』ボタンで操作してください。

## テレビやラジオなどを離して

- エアコン本体およびリモコンからテレビやラジオなどを 1 m 以上離してください。映像の乱れや雑音が入ることがあります。

## 乾燥運転について

- 暖房運転停止後も乾燥運転を行うことがあり、この場合、低風量で送風ファンが動いています。


## マルチエアコンの冷房・暖房運転について

- マルチエアコンでは室内ユニットごとに個別制御できますが、同じ室外機に取り付けられた室内ユニットでは冷房運転と暖房運転を同時に行うことはできません。同時に運転を行ったときは、冷房運転をしている室内ユニットは停止し、操作部の「運転準備」が点灯します。暖房運転している室内ユニットはそのまま運転します。設定以外の運転を行ったときは、操作部の「運転準備」が点灯して運転を停止します。  
エアコンの管理者によって、冷房または暖房に固定されている場合、設定以外の運転はできません。

# このようなときには

修理サービスをお申しつける前に次の点をお調べください。

故障ではありません		原因
故障ではありません	室外ユニット	<ul style="list-style-type: none"><li>● 自動的に室外機の送風機が停止し、霜取りを行っているためです。</li><li>● 除霜運転開始および終了時に電磁弁が作動する音です。</li></ul>
	室内ユニット	<ul style="list-style-type: none"><li>● 運転開始時や運転中、停止直後などに、水の流れるような音や、運転開始直後 2 ～ 3 分間運転音が大きくなることがありますが、これは冷媒の流れる音や除湿水の排水音です。</li><li>● これは温度変化により、熱交換器などがわずかに伸縮するため発生する音です。</li><li>● 壁やじゅうたん・家具・衣類・タバコ・化粧品などの雑多な臭いがエアコンに付着しているためです。</li><li>● 別の室内ユニットが暖房運転しているため冷房運転できないときに表示します。</li><li>● 外気（吸込）温度が運転可能範囲外ではありませんか。（5 ページ参照）</li><li>● エアコンの管理者によって、冷房または暖房に固定されていて、指定と逆の運転をしたときに表示します。</li><li>● 冷風の吹き出しを防止するために送風を停止したときや、室外ユニットが除霜を行っているときに表示します。</li><li>● 停止中の室内ユニットに油や冷媒が滞留するのを防ぐため、一時的に冷媒を流していますので「シャー」「キュルキュル」などの冷媒の流れる音や、他の室内ユニットが暖房運転のときには白い蒸気、冷房運転のときには冷気が出る場合があります。</li><li>● 電源を入れたときに膨張弁が動作する音です。</li><li>● 静電気により一時的に液晶表示部がにじむ場合があります。</li><li>● マルチシステムでは停止ユニットの冷媒・油回収制御を行っており、フラップやファンが動作することがあります。</li><li>● 機器が点検状態になっています。解除するには  ボタンを押してください。リモコン表示の「設定中」の点滅が消えたあとにボタンを押して運転を再開させてください。</li></ul>
もう一度お調べください	自動的に運転したり停止する	<ul style="list-style-type: none"><li>● タイマーが「入」「切」になっていませんか。</li></ul>
	運転しない	<ul style="list-style-type: none"><li>● 停電ではありませんか。</li><li>● 電源ブレーカーが切れていませんか。</li><li>● 電源ヒューズやブレーカーが切れていませんか。</li><li>● 保護装置が作動していませんか。（運転ランプは点灯している）</li><li>● タイマーが「入」になっていませんか。（運転ランプは点灯している）</li><li>● 冷房と暖房を同時に選択していませんか。（リモコン表示部の「運転準備中」表示が点灯します）</li><li>● 外気（吸込）温度が運転可能範囲外ではありませんか。（5 ページ参照）</li></ul>

もう一度お調べください		症 状	原 因
もう一度お調べください		よく冷えない よく暖まらない	<ul style="list-style-type: none"><li>● 室外ユニットの吸込口や吹出口をふさいでいませんか。</li><li>● ドアや窓が開いていませんか。</li><li>● エアフィルターにホコリやゴミがつまっていますか。</li><li>● 室内ユニットの吹出フラップが適正な位置になっていませんか。</li><li>● 風量切換が「弱」または運転切換が「送風」になっていませんか。</li><li>● 設定温度が適正な温度になっていませんか。</li><li>● 冷房と暖房を同時に選択していませんか。（リモコン表示部の「運転準備中」表示が点灯します）</li><li>● 外気（吸込）温度が運転可能範囲外ではありませんか。（5ページ参照）</li></ul>

次の症状のときはただちに運転を中止し、電源ブレーカーを切ってお買い上げの販売店にご連絡ください。

- スイッチの作動が不確実なとき
- ヒューズやブレーカーがたびたび切れるとき
- 誤って異物や水を入れてしまったとき
- 「知っておいていただきたいこと」の保護装置の作動原因（10ページ）を取り除いても運転できないとき
- その他、いつもと違う状態のとき

## 故障診断

### 確認と点検

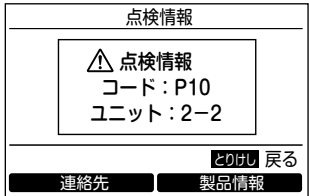
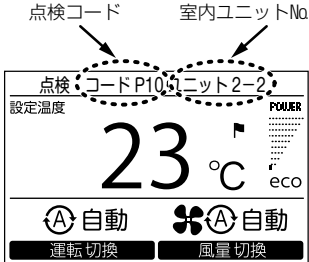
エアコンに不具合が発生した場合、リモコン表示部に点検コードと室内ユニットNoが点滅表示されます。

\* 点検コードは運転中のみ表示されます。

点検コードと室内ユニットNoが表示されているときに『とりけし』を押すと、点検情報画面が表示されます。

点検情報画面で

- **連絡先** 「F1」を押すと、連絡先が表示されます。
- **製品情報** 「F2」を押すと、製品の形名と製造番号が表示されます。



# 点検整備について

- ご使用状態によっても変わりますが、エアコンを数シーズンお使いになると内部が汚れ、性能が低下することがありますので、7～9 ページの日常のお手入れとは別に点検整備（有料）をおすすめいたします。

## 簡易点検のお願い

本製品を所有されているお客様は、フロン排出抑制法により簡易点検が義務付けられています。  
簡易点検は、3カ月に1回以上、下記内容にそってお客様が実施されるかまたは、専門業者へ依頼してください。

簡易点検項目	
室外機点検	・ 機器の異常振動・異常運転 ・ 機器および機器周辺の油のにじみ ・ 機器のキズの有無・熱交換器の腐食・錆など
室内ユニット点検	・ 熱交換器の霜付きの有無

点検は、安全で容易に目視ができる場合を除いて、危険な場合は専門業者へ依頼してください。  
また、「冷えが悪くなった」「エアコンがきかなくなった」などの状況になりましたら、これらの点検を行うとともに専門業者へお問い合わせください。  
簡易点検に関しては、下記サイト内の検索で「簡易点検の手引き」を検索してからダウンロードして詳細を確認してください。  
環境省ホームページ：http://www.env.go.jp/

# 仕様

## 室内ユニット

室 内 ユ ニ ッ ト 形 名			MMD-UP1401HF	MMD-UP2241HF	MMD-UP2801HF
種 類	機 能		冷 暖 房 兼 用 形		
	ユ ニ ッ ト 構 成		分 離 形		
	凝 縮 器 の 冷 却 方 式		空 冷 式		
	送 風 方 式		ダ ク ト 吹 出 形		
電 源			単相 200V 50/60Hz( 室内専用電源 )		
性 能	定 格 冷 房 能 力 (kW)		14.0	22.4	28.0
	暖 房 標 準 能 力 (kW)		12.3(8.0)	19.1(12.4)	23.6(15.5)
騒 音	音圧レベル ※1	急 (dB(A))	38	38	39
		強+ (dB(A))	37	37	38
		強 (dB(A))	35	36	36
		弱+ (dB(A))	32	35	35
		弱 (dB(A))	31	33	33
	音響 パワーレベル ※2	急 (dB(A))	65	71	72
		強+ (dB(A))	64	70	71
		強 (dB(A))	61	68	69
		弱+ (dB(A))	59	67	68
		弱 (dB(A))	57	65	66
総 質 量 (kg)		60	114		
外 形 寸 法	高 さ (mm)	327(+67)	477		
	幅 (mm)	1430	1430		
	奥 行 (mm)	974	114		

※1 音圧レベル (SPL) は、JIS B 8616：2006 に準拠した測定方法です。  
※2 音響/パワーレベル (PWL) は、直吹き室外機は JIS C 9815-1、直吹き室内ユニットは JIS C 9815-2、ダクト接続形は JIS B 8616:2015 に基づいて測定した値です。

- 製品は改良のため、仕様の一部が変わることがあります。
- 地球温暖化係数 (GWP)R410A:2090

この製品は、日本国内用に設計されているため海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。  
This product is designed for use only in Japan and cannot be used in any other country.  
No servicing is available outside of Japan.







# 保証とアフターサービス (必ずお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は

## お買い上げの販売店へご相談ください。

販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

### 東芝エアコン空調換気ご相談センター

お電話・FAXをいただく際には、番号をお確かめのうえ  
おかけ間違いのないようにお願いします。

フリーダイヤル  
**0120-1048-00**

受付時間：365日 9:00～20:00

携帯電話・PHSなど 03-5326-5038 (通話料：有料)

FAX 0947-32-8018 (通話料：有料)

- ・お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- ・利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社へ、お客様の個人情報を提供する場合があります。

### 保証書 (別添)

この東芝パッケージエアコンには、保証書を別途添付しております。

- 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。
- この東芝パッケージエアコンの保証期間は、お買い上げいただいた日から 1 年間です。その他、詳しくは保証書をご覧ください。

### 補修用性能部品の保有期間

- パッケージエアコンの補修用性能部品の保有期間は製造打切り後 9 年です。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

### フロン排出抑制法に基づく点検実施のお願い

本製品を所有されているお客様は、フロン排出抑制法に基づく点検を実施してください。「点検記録簿」には、機器を設置したときから廃棄するときまでのすべての履歴を記載してください。

費用など点検に関する詳細につきましては、お買い上げの販売店または東芝エアコン空調換気ご相談センターにお問い合わせください。

「点検記録簿」に関しては、下記サイト内にありますので、ダウンロードしてご使用ください。

日本冷凍空調設備工業連合会のホームページ：http://www.jarac.or.jp/

修理を依頼されるときは

(出張修理になります)

ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、電源ブレーカーを切ってから、お買い上げの販売店にご連絡ください。修理は専門の技術が必要です。修理に際して冷媒を回収するときは、フロン排出抑制法の規程に従ってください。

### ■保証期間中は

修理に関しては室外機に付属の保証書をご覧ください。  
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

### ■保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

### ■修理料金の仕組み

技術料・部品代・出張料などから構成されています。	
技 術 料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部 品 代	修理に使用した部品代金です。
出 張 料	商品のある場所へ技術者を派遣する料金です。

### ■ご連絡いただきたい内容

品 名	パッケージエアコン	
形 名		
お 買 い 上 げ 日	年 月 日	
故 障 の 状 況	できるだけ具体的に	
ご 住 所	付近の目印なども併せてお知らせください。	
お 名 前	電話番号	訪問希望日

記入されておくくと便利です。

お 買 い 上 げ 店 名	
電 話 番 号	電話 ( )

東芝キャリア株式会社

〒416-8521 静岡県富士市蓼原 336 番地

SN:EH99964801